

作り方編

段ボールコンポストで生ごみ減量

箱を作る



1 段ボールを組み立て、箱にする。



2 底をテープで貼り合わせる。



3 発泡スチロールの角棒を底に貼りつける。
(通気性を高めるため)



4 段ボール箱内側の底に大きめのレジ袋を貼る。
(水分が直接段ボールに当たらないようにするため)



5 レジ袋の上に新聞紙を1枚敷く。
(水分を吸収するため)



6 新聞の上に人工芝を置く。
(通気性を高めるため)



7 上蓋部を内側に折りこむ。
(段ボール箱の強度補強のため)



完成

段ボールコンポストとは?

段ボール箱を利用した生ごみ処理機のことです。腐葉土にいる微生物の働きにより、生ごみを減量・堆肥化します。手軽にできて、家庭のごみの約40%を占める生ごみの減量に効果的です。

特徴

材料費が安い!

段ボール箱と腐葉土、米ぬか、洗濯ネット等で簡単にできます。特別な容器や機械を購入する必要はありません。

自宅で気軽に使える!

電気も使わず省エネで、場所も取らないため、自宅で気軽に使えます。

発酵剤などを使わない!

腐葉土に付いている微生物の働きで生ごみを分解するので、発酵剤などの薬品を使いません。

安全な肥料として使える!

できた堆肥は、化学肥料を使わない安全な有機肥料として畑や家庭菜園で使えます。

材料

スーパーや酒屋等で手に入ります

- 内容量 25L~30L程度のダンボール箱

ホームセンター等で購入できます

- 人工芝1枚
- 発泡スチロール製の角棒 (5cm×30cmに切ったもの)
- 防虫ネット (または不織布)
- 腐葉土 (1.5kg)
- 米ぬか (150g)
- 洗濯ネット (45cm×60cmぐらいのもの)

家にあるものを使ってください

- 大きめのレジ袋
- 新聞紙2枚
- ビニール紐

蓋を作る

(保温・防虫のため)



1 蓋用の段ボールを広げ、カッターで半分に切る。



2 切った段ボールを開き、布テープで貼り合わせる。



3 2つの段ボールを組み合わせる。



4 隙間を布テープで貼って、蓋の完成。



「使い方は裏面へ」